

“ふじのくに”士民協働事業仕分け結果（事業別個表）

事業番号	30	事業名	就職支援キャリアカウンセラー配置事業費助成
------	----	-----	-----------------------

1 基本情報

実施日／班名	10月14日 第3班	時間	15:30～16:29
担当課名	文化・観光部私学振興課	事業費	5,400千円

2 判定結果

結果	県民評価者 判定内訳(人)			
県の関与必要 (見直し・縮小)	判定区分	県の関与不要	11	
		県の関与必要	見直し・縮小	13
			現行・拡充	4
	判定理由	結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由（人、複数回答有）		
		県の役割(市町、関係団体、県民等との役割分担)を見直すべき		7
事業の終期(期限)を設定すべき		7		
事業の効率化を図りコストを縮減すべき		2		
サービス受給者の自己負担について見直すべき		2		

3 具体的な見直し・改善策又はその他意見

【県の関与不要】

- ・何でも何でも支援と願って、公立にも私立にも支援は良くない。独自の努力、カウンセラー、コンサルタントなど不要。自分の将来は、もう子どもの時から将来を考え独立。人生甘すぎです。
- ・就職する対象者が少ない中、私立高校に対し実施する高校としない高校があるのは如何なものか？不必要とする私学は何故(存在意義)不必要なのか。必要とする私学は大変だから云々となるのは、経営自体がそもそも危ういのではないのか？
- ・私学である以上、必要なら学校の予算内でキャリアカウンセラーを雇うべきであり、県が一部の私立学校に予算を使う必要はないと思う。
- ・アンケートは、生徒の声を集めた方がよいと思う。生徒と教師では温度差があると思う。
- ・私学助成金の範疇でやるべきで、私学の独自性を促した方がよい。
- ・私立高校における内定状況の悪化は理解できる。しかし、各高校のさらなる努力は求めないのか？過去の卒業生のノウハウを蓄積したり、OB・OGに現在の状況を説明してもらう機会を設けるなりすれば、十分な支援にはならないか。OB・OGを積極的に活用する。親にも協力してもらう。
- ・私立学校なので、県が助成するのはおかしい。学校(私立)にまかせるべき。3年生の9月就職試験不合格になった人にスキルアップの指導をするのは遅すぎ。2年生ぐらいから始めれば良いのでは？(学校主催で)
- ・(社)静岡県私学教育振興会と各学校が連携してやって行くべき。私学には多額の補助金が出ているので、学校自体で本来なら就職支援体制を整えていくべき。

- ・なぜ「私学」のみなのか。「高校生」という括りであれば必要だが、「人材派遣会社」→「私学」でいいのではないか。
- ・私立高校の経営ということで、自助努力でやってもらいたい。

【県の関与必要（見直し・縮小）】

- ・私立学校の協力性によって、負担金を変動させてはどうか。カウンセラーが評価し、任せっきりになっていないか、自前でできるよう努力しているかで、努力の不足している学校に多く負担させるべき。私立にとって、就職率も一つの“売り”になるはずなので、できれば自前でカウンセリングできるようにする又は依頼するなどしてほしい。
- ・カウンセリング指導、必要？時代が違うのかもしれないですが、県が介入しないとできないのか疑問です。学校でやることだと思うが、どうしても就職率が悪い学校（希望者が多く）に一時的に指導くらいでよいかと。続けられないということなので、それでよいかと思えます。
- ・教師に対する講習。有料。やはり学校は学校で独立するべき。ただ、それでも何度も事実行われてきているので、混乱を起こさないように時期をみる。
- ・私学は私学。公の機関が関わることに疑問を感じる。
- ・就職できなければ、保険も年金も支払えない。就職に結びつけられたことには、成果はあったと思うが、学校側の努力も必要だと思う。又、大学も同様の努力をすべきと思えます。
- ・私立高校は進学率に重きをおく学校が多いように思う。私立高校の就職に対する考え等が疑問なので、この助成もどうなのかと思う。
- ・景気が低迷していますので、すぐに県の支援を中止するのは難しいと思えますが、終期を設けて、私学に対応を促す努力が必要と思えます。
- ・私学へアドバイスを実施して、補助金は今後終了させる。
- ・私学はアルバイトの先生が多く、就職指導専門の人がいない学校が多い。卒業生の指導・支援（再就職）に力を入れる先生がいないのが現状である。
- ・キャリアコンサルティング技能士という専門性を活かして就職支援の役割を果たしていく、これは親がとてできる分野ではないので、大いに活躍してほしい（学生にとってメンタル面でもよい）。学校の先生には余裕がそこまでないと思われる。
- ・不要に近い見直し。長く続けることはないと思うので、立て直すための何年かでいずれ不要にという判断をした。

【県の関与必要（現行・拡充）】

- ・キャリアカウンセラーに限らず、静岡の企業に関心を向ける合同説明会の充実。離職者へのフォローも行うなど、生徒と企業のマッチングを向上させることが重要だと思う。
- ・高校生という未熟な世代だからこそ、講義以外にも企業と直接接する機会（企業研究）が必要だと感じる。また、公立・私学に限らず就職を希望する学生を対象にすべきだと思う。
- ・専門委員の意見に賛同します。将来に向けてのビジョンは大切です。ただし、今の社会情勢、私立高校の現状を考慮して、現事業は続けるべきと思えます。